

中之島未来医療国際拠点（NakanoshimaQross）を拠点とした 細胞大量製造バリューチェーン開発コンソーシアムへの参画のお知らせ

当社は、この度、クオリプス株式会社（東京都中央区日本橋 代表取締役社長 草薙尊之氏）の呼びかけにて形成する中之島未来医療国際拠点（NakanoshimaQross）を拠点とした細胞大量製造バリューチェーン開発コンソーシアムに参画いたします。当社は、自動大量接着細胞培養装置を開発し、再生医療の実用化と普及を目指します。

コンソーシアムの目指す姿 継続的な循環開発により大量製造技術の世界をリードする



出典：  CUORIPS クオリプス株式会社

(画像に関するお問い合わせ先) クオリプス株式会社 経営企画部 cuo_ir@cuorips.co.jp

1. コンソーシアム形成の背景

ヒトや動物の細胞を用いた技術は、再生医療等製品や医薬品だけでなく、培養上清を用いた新しい治療技術の開発や培養食肉の開発など、多方面かつグローバルに進展し始めており、これら全てに共通することは大量に細胞を生産する必要があること、さらに大量製造は多様かつ複雑な工程で構成されることから、製造装置及びシステム、そこで利用されるデバイス、原材料等のアプリケーションの開発において、様々な企業が持つ技術や知見を結集する必要があります。

2. コンソーシアムについて

本コンソーシアムは、クオリプス株式会社が形成し、開発拠点を今夏に稼働予定の中之島未来医療国際拠点（Nakanoshima Qross）に置き、かねてより各社と進めてきた要素技術の開発に基づき、パイロットスケールで製作するプラットフォームシステムを導入する予定です。さらに本コンソーシアムでは、アプリケーション開発を推進し、継続的かつ持続的な開発を進めると同時に、細胞培養加工施設への導入や商用レベルでの実証を行うことも計画しています。

本コンソーシアムにおける活動の成果は、各社と協力して作り上げたパッケージシステムとして、国内外で活用していきます。加えて、各社の独自事業での利用を促進するオープンイノベーション拠点として本コンソーシアムを位置づけ、今後も様々な技術ノウハウを有する各社との開発を促進して参ります。

3. 自動大量接着細胞培養装置の開発について

当社は、メカトロ・画像処理技術などを活用し、2000年から製薬企業様向けに自動化装置を販売してきました。本コンソーシアムでは、これまでの経験から培った接着細胞を大量に培養する技術を導入した、細胞播種から回収までの自動化をコンセプトとする自動大量接着細胞培養装置を開発し、再生医療の実用化と普及を目指します。

【コンソーシアムの概要】

名 称	細胞大量製造バリューチェーン開発コンソーシアム（仮称）
発 足 日	2024年5月21日（予定）
開 発 拠 点	中之島未来医療国際拠点（Nakanoshima Qross） 大阪府大阪市北区中之島4丁目3-51
運 営 事 務 局	クオリプス株式会社
参 画 表 明 企 業	四国計測工業株式会社（自動大量接着細胞培養装置他） 佐竹マルチミクス株式会社（自動大量浮遊細胞培養装置他） 株式会社ニチリョー（自動大量細胞充填・分注装置他） フクシマガリレイ株式会社（自動大量凍結装置他） 横河電機株式会社（MES・LIMS 統合システム他） ※順不同（2024年4月現在）

以上

お問い合わせは当社 HP の「お問い合わせフォーム」からお願いします。

URL : <https://www.yonkei.co.jp/contact/>